

札幌未来牽引企業創出事業 事業紹介

-SAPPORO NEXT LEADING企業を募集します-



SAPPORO
NEXT
LEADING

Ver.2025.5.9

札幌市では、札幌の経済が大きく飛躍していくための、様々な産業振興施策を進めています。

札幌市は、今後、少子高齢化などの社会経済情勢の変化が見込まれておりますが、そのような環境の中で、札幌の経済が持続的に成長するためには、**札幌市内での新たな雇用や、市外や道外、海外との新たな取引が創出されることが必要です。**

そのため、本事業では、『将来的に札幌経済を牽引する企業となり、地域経済の活性化に貢献したい』という企業を「**SAPPORO NEXT LEADING企業**」として認定し集中的な支援を実施します。



SAPPORO
NEXT
LEADING

支援内容のご紹介

札幌未来牽引企業創出事業とは

事業の趣旨

- 今後も札幌経済が継続して活性化することを目標に、
将来的に地域経済を牽引する意欲のある企業の成長を支援します。

事業の特徴

- 札幌市の経済を牽引していく企業となることを目指して、活動していく意欲と実行可能な計画を持つ中小企業を、
「SAPPORO NEXT LEADING企業」として札幌市が認定します。
- 認定年度を含む最長 5 年度以内（令和7年度～令和11年度）で目標達成に向けた集中支援を行います。

※令和7年度以降年度末に更新審査があり、更新審査を通過した企業のみ、支援が継続されます。
※令和8年度以降の支援は札幌市議会において本事業に要する予算の議決を受けることが前提であり、最長支援期間である5年度間を待たずに支援終了となる場合があります。



- 各コースで設定された目標が達成された場合は、
「SAPPORO LEADING企業」として札幌市が認定します。
- 目標達成後は支援を終了し、実績をロールモデルとして発信します。



- ・ **付加価値向上コース、上場支援コース**の2コースを用意。
- ・ 各コースの認定企業は、支援実績が豊富な以下のコンサルタントの支援を無料で受けることができます。両コースで受けられる**共通支援**もあります。

付加価値向上コース(上限10社)

5年以内に自社の付加価値※を大きく向上させ、事業を成長させたい企業

デロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザー・合同会社のコンサルタントが、
5年以内の付加価値額20%増に向けて、
事業計画の策定と計画の実行を支援します。

付加価値：営業利益、人件費、減価償却費の合計額

上場支援コース(上限10社)

5年以内に上場し、資金調達により事業成長を加速させたい企業

EY新日本有限責任監査法人
札幌事務所の公認会計士が、
5年以内の上場に向けて、
上場準備に向けた課題診断を行い
改善策の実施を支援します。

共通支援

プロモーション支援 / コミュニティ形成支援 / 勉強会・ピッチイベント / 情報提供

- ・ 令和7年5月現在で、SAPPORO NEXT LEADING企業18社を支援。
- ・ 今回、上場支援コースについて、**2社の追加公募をいたします。**

付加価値向上コース(10社認定)

- ・ アイビック食品(株)
- ・ (株)インフィニットループ
- ・ (株)感動いちば
- ・ (株)三五工務店
- ・ システムバンク(株)
- ・ ベル食品(株)
- ・ 北海道歯科産業(株)
- ・ モリタ(株)
- ・ 横山製粉(株)
- ・ (株)リ्यूツー

上場支援コース(8社認定)

- ・ (株)イーバック
- ・ (株)インプル
- ・ 大熊ダイヤモンドデバイス(株)
- ・ (株)グラフィックホールディングス
- ・ (株)ファーストコネクト
- ・ (株)メカノクロス
- ・ (株)MJOLNIR SPACEWORKS
- ・ Letara(株)
- ・ **【追加公募枠】**
- ・ **【追加公募枠】**

※各コース企業名50音順

- これまでに20社をSAPPORO NEXT LEADING企業として認定。



令和6年1月に18社を認定



令和6年9月に2社を追加認定

※ 20社中2社については令和7年3月で支援を終了

上場支援コース(詳細)

各社ごとに配置する公認会計士が、
上場に向けた課題診断と課題解決に向けた支援を行います。

上場準備に向けた課題診断

- 公認会計士が訪問して、ショートレビューに準じた形で上場に向けた課題診断を実施します。
- 課題と企業の状況を踏まえた、具体的な改善策を提案します。

伴走支援

- 課題診断を基に、担当公認会計士が上場に向けた改善策の実施を支援。
- ➔ 月 1 回以上の訪問による相談対応
- ➔ 上場に向けたタスクの進捗管理
- ➔ 課題の把握と解決に向けた助言

支援機関との連携

- 取り組みを通じて必要となる支援の提供機関の紹介・連携を支援します。

士業専門家等による相談対応

- 認定企業のニーズや課題に応じて士業専門家を紹介。
- アドバイス内容は担当公認会計士がフォローアップ。

【紹介士業専門家】

税理士/行政書士/
弁護士/弁理士
社会保険労務士

IPOセミナー

- IPO準備の実務セミナーや、その時々ホットピックを共有するイベントを年に数回オンラインで配信。

付加価値・上場の両コースに共通した支援も実施します。

プロモーション支援

- SAPORO NEXT LEADING 企業としてのロゴマークが活用できます。目標達成後の、ロゴも用意しています。



- 札幌市の専用ホームページで認定企業としての情報発信を支援します。
- 各種イベントへの登壇機会を提供します（首都圏含む）※活動状況に応じます

コミュニティ形成

- 認定企業のネットワーク構築のため、以下の参加者を含めた意見交換会やピッチイベント、勉強会を開催します。

< 参加者 >

- 認定企業（付加価値・上場）
- 支援機関
- 市内企業

情報提供・相談

- 札幌市、（一財）さっぽろ産業振興財団等の協力機関が実施する補助金情報や支援メニューなど、随時情報提供します。



SAPPORO LEADING企業までのプロセス



※更新審査で支援継続が決定されなかった場合や、令和11年度までに目標が達成できなかった場合等に支援終了



SAPPORO
NEXT
LEADING

事業への参加について

申請の要件(詳細は募集要領を確認してください)

共通要件

- (1) 札幌市内に本店登記をしており、札幌市内において主たる事業活動を行っている中小企業。
- (2) 申請時以降、概ね10年間以上、札幌市内に事業所を有し続ける見込みがあること。
- (3) 札幌市の経済を牽引していく企業となることを目指し、活動していく意欲を有していること。
- (4) 認定年度を含む5年度間以内に各コースの目標を達成するための実行可能な事業計画とその実施体制を有していること。
- (5) 支援の公表を了承し、札幌市の事業及びアンケートに協力すること。
- (6) 支援期間中は、密に連携を取り、積極的に支援を活用し、適切に報告を行うこと。
- (7) 申請時点において税の未納がない。
- (8) 次に掲げる業種又は企業（暴力団、風営法・・・等）ではないこと。

上場支援コースの要件

- ・自社の株式を証券取引所に上場していないこと

支援企業決定までの流れ

募集・申請書受付



書面審査



面接審査



認定企業決定

■令和7年5月9日(金)～令和7年6月25日(水)12時※

■上位**5社**を面接審査に進む企業として選定します。

■令和7年7月25日頃に、結果を書面で通知します。

■令和7年8月1日(金)の実施を予定

■面接審査は以下の流れで実施します。

①事業計画プレゼンテーション(10分間)

・ご提出いただく事業計画書の詳細資料に沿ってプレゼンテーションを行っていただきます。

②審査委員ヒアリング

・審査委員によるヒアリングを行います。

③支援者ヒアリング

・支援者となるEY新日本有限責任監査法人札幌事務所によるヒアリングを行います。

■**2社**を上限として、認定企業を決定します。

決定後はすぐに支援が開始します。

■令和7年8月中旬に、結果を書面で通知します。

必要書類		様式
1	札幌未来牽引企業創出事業 公募申込書	様式1
2	申請者概要	様式2
3	事業計画書 付加価値向上コース ※今回の募集対象外	様式3
	上場支援コース	様式4
4	事業計画書詳細 ・事業計画書の記載内容の詳細がわかる資料を作成ください。 ・<u>以下の項目は必ず記載してください。（※詳細は募集要領を確認してください）</u> ・自社の事業内容 （ビジネスモデル、事業の特徴、市場の特徴、競合の特徴） ・将来のビジョン等 （企業理念・上場の目的、<u>上場後の成長計画・資金調達の考え方</u>、札幌との関わり） ・本事業での取組事項 （支援期間中の目標、本事業による支援を受けたい理由、期待する支援）	Power Point等 スライド 10枚以内 ※様式は自由 ※PDFで提出
5	定款	
6	申請日までに確定している直近3決算期分※の以下の書類 ・貸借対照表 ・損益計算書 ・売上原価、販売費及び一般管理費の明細書 ・確定申告書類の「法人事業概況説明書」の写し ・確定申告書類の「同族会社等の判定に関する明細書」の写し ※設立から3期を経過していない場合は設立時から申請日までに確定している決算期分	

上場支援コース

1	事業内容と課題認識	20
	・現状分析による強み・弱み具体的に把握できているか。 ・事業内容に競争優位性や独創性等の強みがあり、今後、事業や市場の継続的な成長が見込めるか。	
2	意欲	20
	・事業成長への強い意欲を有しているか。 ・市場や競合の特徴を考慮したうえで、将来の目標や今後の展望などが適切に設定されているか。	
3	上場後の成長可能性	30
	・自社が解決する社会課題と、それを実現するビジネスモデルが明確になっているか。 ・事業によっては海外マーケットも視野に入れるなど、上場後の成長戦略を描いているか。 ・資金調達により事業成長の加速が期待される事業計画となっているか。	
4	実現可能性と支援の必要性	20
	・事業計画は合理的で、実現可能なものとなっているか。 ・本事業による支援が有効に活用される事業計画となっているか。	
5	地域への貢献度・支援を受ける適格性	10
	・事業内容等は札幌市の目指す方向性に沿っており、高い経済波及効果が見込まれるなど、札幌市が支援することに適したものか。	

一般財団法人さっぽろ産業振興財団

総務企画部 企業支援課

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

電話:011-817-8913 (土日祝日を除く 8:45~17:15)、E-mail: sapporo_leading@sec.or.jp

申請書等は札幌市ホームページからのダウンロードをお願いします。

https://www.city.sapporo.jp/keizai/leading/bosyu_r7.html

※申請受付期間は5/9(金)~6/25(水)12時〆



本事業の申請及び事業計画の策定については、札幌中小企業支援センターでアドバイスを受けることが可能です。より良い事業計画策定のため、ぜひ積極的に活用ください。

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 札幌中小企業支援センター
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル2階
電話：011-200-5511 FAX：011-200-4477 ※ご予約をおすすめします
<https://chusho.center.sec.or.jp/>



※申請書の作成は、必ず申請者自身で行ってください。